

# 五島市ごみ処理施設整備及び運営事業

## 審査講評

平成 29 年 6 月 19 日

五島市ごみ処理施設整備事業事業者選定委員会



## 《目 次》

I 事業者選定委員会 .....	1
II 審査方法.....	1
III 事業者選定委員会開催経過 .....	2
IV 審査結果の概要 .....	3
1 応募者.....	3
2 入札参加資格審査.....	4
3 基礎審査.....	4
4 非価格要素審査.....	5
5 価格審査.....	10
6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定.....	10
V 総評 .....	11



## I 事業者選定委員会

五島市（以下「本市」という。）は、応募者の事業提案の審査を公平に専門的知見に基づいて実施するため、五島市ごみ処理施設整備事業事業者選定委員会（以下、「事業者選定委員会」という。）を設置した。選定委員会を構成する委員は学識経験者及び行政から選出された次の 8 名である。

五島市ごみ処理施設整備事業事業者選定委員会委員

委員名		所属
委員長	西久保 裕彦	長崎大学環境科学部 教授
副委員長	吉谷 清光	副市長
委員	朝倉 宏	長崎大学環境科学部 准教授
委員	久保 実	総務企画部長
委員	川端 久章	市民生活部長
委員	出口 秀幸	建設水道部長
委員	山本 強	財政課長
委員	太田 税	生活環境課長

(敬称略)

## II 審査方法

審査方法の詳細については、落札者決定基準書に示すとおりであるが、本事業では入札参加資格審査を実施した後、基礎審査として次の 2 項目を確認した。

- ・提出書類の整合確認（必要な書類がそろっているか、書類間の整合が図られているか）
- ・事業提案書の要求水準確認（事業提案内容が要求水準を満たしているか）

その後、非価格要素審査に関する事業提案内容を評価し得点化する非価格要素審査、及び入札価格を得点化する価格審査を実施し、総合評価落札方式一般競争入札により最高得点者を優秀提案者として選定した。

このうち非価格要素審査にあたっては、事前に応募者との対話方式によるヒアリングを開催し、事業提案書の内容について理解を深め、実施した。

なお、審査にあたっては、応募者番号のみが記載された審査資料を用いることで、応募者の匿名性を確保した。

### Ⅲ 事業者選定委員会開催経過

事業者選定委員会の開催及び審査結果の公表等は、表 1 に示すと通りの日程により実施した。

表 1 事業者選定委員会の開催及び審査結果の公表等の経過

内 容	日 程
第 1 回事業者選定委員会 (委員会の進め方等の審議)	平成 28 年 6 月 29 日 (水)
第 2 回事業者選定委員会 (実施方針、要求水準書 (案)、総合評価方法の審議)	平成 28 年 8 月 1 日 (月)
実施方針及び要求水準書 (案) 等の公表	平成 28 年 8 月 17 日 (水)
実施方針及び要求水準書 (案) 等に関する質問受付	平成 28 年 8 月 26 日 (月)
実施方針 (変更) の公表	平成 28 年 11 月 18 日 (金)
第 3 回事業者選定委員会 (入札説明書、要求水準書、落札者決定基準書、事業契約書、様式集等の審議)	平成 28 年 11 月 25 日 (金)
入札公告及び入札説明書等の公表・交付	平成 28 年 12 月 6 日 (火)
現地見学会申込受付期限	平成 28 年 12 月 13 日 (火)
現地見学会	平成 28 年 12 月 14 日 (水) ~ 平成 28 年 12 月 15 日 (木)
第 1 回入札説明書等に関する質問受付期限	平成 28 年 12 月 19 日 (月)
第 1 回入札説明書等に関する質問回答の公表 【入札参加資格に関する質問への回答】	平成 28 年 12 月 27 日 (火)
入札参加資格審査書類受付期限	平成 29 年 1 月 20 日 (金)
第 1 回入札説明書等に関する質問回答の公表 【入札参加資格以外に関する質問への回答】	平成 29 年 1 月 31 日 (火)
入札参加資格審査結果の通知・応募者番号の交付	平成 29 年 1 月 31 日 (火)
概要説明会用資料受付期限	平成 29 年 2 月 10 日 (金)
第 4 回事業者選定委員会 (概要説明会)	平成 29 年 2 月 21 日 (火) ~ 平成 29 年 2 月 22 日 (水)
第 2 回入札説明書等に関する質問受付期限	平成 29 年 2 月 27 日 (月)
第 2 回入札説明書等に関する質問回答の公表	平成 29 年 3 月 7 日 (火)
事業提案書の受付期限	平成 29 年 4 月 3 日 (月)
第 5 回事業者選定委員会 (基礎審査、応募者ヒアリング)	平成 29 年 5 月 15 日 (月) ~ 平成 29 年 5 月 16 日 (火)
第 6 回事業者選定委員会 (非価格要素審査、価格審査、総合評価、審査講評)	平成 29 年 5 月 16 日 (火)

内 容	日 程
落札者決定及び公表	平成 29 年 5 月 19 日 (金)
基本協定締結	平成 29 年 6 月 7 日 (水)
仮契約の締結 (予定)	平成 29 年 7 月 18 日 (火)
事業契約の締結 (予定)	平成 29 年 7 月 28 日 (金)

#### IV 審査結果の概要

##### 1 応募者

対象となる応募者は表 2～表 5 に示すとおり、4 グループであった。

表 2 応募者 緑グループ

代表企業	エスエヌ環境テクノロジー株式会社
構成員	株式会社今村組 日立造船株式会社 九州支社 Hitz 環境サービス株式会社 ニチゾウ九州サービス株式会社
協力企業	—

表 3 応募者 青グループ

代表企業	三機工業株式会社
構成員	三機化工建設株式会社
協力企業	株式会社片山組 株式会社坂本組 宅島建設株式会社

表 4 応募者 赤グループ

代表企業	株式会社プランテック
構成員	—
協力企業	松尾建設株式会社 長崎支店 株式会社谷川建設 五島本部 株式会社才津組

表 5 応募者 黄グループ

代表企業	株式会社協和エクシオ
構成員	アイテック株式会社
協力企業	増山建設株式会社 五島支店

## 2 入札参加資格審査

入札説明書で示した入札参加資格を応募者が満たしていることを表 6 に示すとおり確認した。なお、入札参加資格審査は事務局において実施した。

表 6 入札参加資格審査結果

項目	応募者グループ			
	緑	青	赤	黄
(1) 応募者の構成	合格	合格	合格	合格
(2) 応募者の参加資格要件	合格	合格	合格	合格
共通の参加資格要件	合格	合格	合格	合格
本施設のプラントの設計・建設を行う者	合格	合格	合格	合格
本施設の建築物等の設計を行う者	合格	合格	合格	合格
本施設の建築物等の建設を行う者	合格	合格	合格	合格
運営事業者から本施設の運營業務を受託する者	合格	合格	合格	合格

## 3 基礎審査

応募者から提出された事業提案書類に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを審査した。その結果、表 7 に示すとおり 4 グループとも当該要件を満たしていることを確認した。

表 7 基礎審査結果

基礎審査項目	応募者グループ			
	緑	青	赤	黄
提出書類の整合確認書（様式 6-1） ・様式 6-1 「提出書類の整合確認書」等により提出書類について整合が図られていることを確認	合格	合格	合格	合格
事業提案書の要求水準書確認書（様式 6-3～6-11） ・様式 6-3 「提案設計資料」、様式 6-4 「要求水準に対する設計仕様書」及び様式 6-5～6-11 「基礎審査に関する提出書類」により、事業提案の内容が要求水準書を満たしていることを確認	合格	合格	合格	合格

## 4 非価格要素審査

### (1) 審査結果一覧

非価格要素審査は要求水準を満たすことはもとより、応募者が提案する内容が具体的で、一般廃棄物処理業務の一環として適切かつ柔軟な対応が図られているかといった観点から審査し得点化した。

提案内容の得点化は、「落札者決定基準」に示す27の各項目について表8に示す採点基準にしたがって各委員がA～Eの5段階評価を行い、その平均をとった（配点60点）。

非価格要素審査結果は表9に示すとおりである。

表8 審査項目の採点基準及び得点化方法

評価	採点基準	得点化方法
A	特に優れている	(配点× 1)
B	AからCの間	(配点×0.75)
C	優れている	(配点× 0.5)
D	CからEの間	(配点×0.25)
E	要求水準を満たす程度	(配点× 0)

表 9 非価格要素審査結果一覧

審査項目	配点	緑グループ	青グループ	赤グループ	黄グループ
1. 住民の生活を守る安全で安定的な処理を実現する施設 (66点)	66	<b>36.78</b>	<b>35.60</b>	<b>35.03</b>	<b>28.59</b>
(1) 事業計画に関する事項 (16点)	16	8.91	8.44	8.03	6.38
①事業実施体制	4	2.25	2.25	2.13	1.50
②財務の健全性	3	1.69	1.69	1.59	1.03
③工程計画	6	3.38	3.19	2.81	2.44
④本事業全体のリスクと対応策	3	1.59	1.31	1.50	1.41
(2) 設計・建設に関する事項 (24点)	24	13.58	13.02	13.41	11.35
①プラントシステムの信頼性	3	1.78	1.50	1.69	1.50
②ごみ質及びごみ量の変動に対するプラントの適性	3	1.59	1.59	1.50	1.50
③機器配置計画 (機能性、メンテナンス性、安全性に配慮した工場棟の配置・動線計画)	3	1.59	1.59	1.69	1.50
④非常時対応	3	1.78	1.69	1.59	1.59
⑤全体配置計画 (安全性、利便性に優れた配置・動線計画)	6	3.75	3.56	3.94	2.63
⑥建築各種計画 (意匠・構造・仕上げ・外構・設備等各種計画)	3	1.59	1.59	1.50	1.41
⑦施工中の対応	3	1.50	1.50	1.50	1.22
(3) 運営に関する事項 (26点)	26	14.29	14.14	13.59	10.86
①運転管理体制	3	1.69	1.59	1.69	1.31
②受入・受付方法	4	2.25	2.13	2.13	1.63
③搬入物管理	3	1.31	1.69	1.69	1.59
④運転計画	4	2.38	2.13	1.88	1.25
⑤緊急時対応	1	0.56	0.50	0.50	0.44
⑥維持管理・補修計画(プラント部分)	4	2.38	2.38	1.88	1.63
⑦維持管理・補修計画(プラント以外)	3	1.59	1.59	1.69	1.13
⑧運営期間終了時の計画	4	2.13	2.13	2.13	1.88
2. 環境負荷を低減する環境にやさしい施設 (12点)	12	<b>6.75</b>	<b>6.19</b>	<b>6.56</b>	<b>4.97</b>
(1) 設計・建設に関する事項 (6点)	6	3.37	3.00	3.18	2.72
①環境負荷低減	3	1.78	1.50	1.59	1.41
②周辺環境との調和	3	1.59	1.50	1.59	1.31
(2) 運営に関する事項 (6点)	6	3.38	3.19	3.38	2.25
①作業環境保全対策、公害防止の対応 (測定項目・測定頻度、基準値超過時の対策)	6	3.38	3.19	3.38	2.25
3. 地域に貢献し、親しまれる施設 (22点)	22	<b>13.03</b>	<b>11.94</b>	<b>12.19</b>	<b>10.62</b>
(1) 設計・建設に関する事項 (6点)	6	3.00	3.00	2.82	3.00
①見学者の安全性、利便性に配慮した見学ルートの形成	3	1.50	1.50	1.41	1.50
②展示・学習内容の充実	3	1.50	1.50	1.41	1.50
(2) 事業計画に関する事項 (16点)	16	10.03	8.94	9.37	7.62
①地元企業への発注	7	4.81	3.50	3.50	2.84
②運営業務時における地元雇用	7	4.16	4.38	4.81	3.72
③地域への貢献、本市との連携	2	1.06	1.06	1.06	1.06
合計	100	<b>56.56</b>	<b>53.73</b>	<b>53.78</b>	<b>44.18</b>
非価格要素点	60	33.94	32.24	32.27	26.51

## (2) 非価格要素審査の講評

非価格要素審査の講評は表 10 に示すとおりであった。

表 10 非価格要素審査の講評 (1/3)

審査項目	講 評
<b>1. 住民の生活を守る安全で安定的な処理を実現する</b>	
<b>(1) 事業計画に関する事項</b>	
①事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に応募者を構成する各企業の役割分担（業務内容等）と責任分担について具体的かつ適切な提案がなされていたが、緑グループの構成員の役割と責任分担が明確に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に設計・建設・運営の各段階における実施体制について具体的かつ適切な提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に設計・建設・運営の各段階におけるバックアップ体制について具体的かつ適切な提案がなされていたが、青グループのバックアップ体制を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に設計・建設・運営の各段階で要求水準書等の内容を遵守しているかを、応募者自らが確認（セルフモニタリング）し、本市がチェックできる体制及び手法について具体的かつ適切な提案がなされていた。</li> </ul>
②財務の健全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に代表企業及び構成員による SPC への出資額及び出資比率のバランスについて、優れた提案がなされていたが、緑グループは構成員の能力を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に財務の健全性確保のため、不測の事態が生じた場合の資金確保方策について、優れた提案がなされていた。</li> </ul>
③工程計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に施設整備の工程計画が、事業スケジュールを踏まえ適切であった。</li> <li>・ 3グループにおいて工期短縮の提案がなされた。緑グループは工程短縮の理由が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に天候による資材搬入の遅延等、離島である立地を考慮した優れた提案がなされていた。</li> </ul>
④本事業全体のリスクと対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本事業に関して組織体制や施設面におけるリスクの認識と対応策について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に事故の防止と発生時対応、各種保険の活用について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に離島であることを踏まえ、薬剤の確保等の非常時の運営におけるリスク管理の優れた提案がなされていたが、緑グループは対応が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> </ul>
<b>(2) 設計・建設に関する事項</b>	
①プラントシステムの信頼性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に納入施設における過去のトラブルを踏まえた技術改善等の実績に基づき、信頼性及び耐久性があり、安定して使用できるプラントシステム（受入供給設備～計装設備）について、優れた提案がなされていたが、緑グループは具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共にプラントの点検及び補修が容易であり、トラブル発生時においても迅速に復旧できるプラントシステム（受入供給設備～計装設備）について、優れた提案がなされていたが、赤グループはトラブル対応が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> </ul>
②ごみ質及びごみ量の変動に対するプラントの適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共にごみ質及びごみ量の変動（非常時含む）に対する設備の適性（低負荷及び高負荷特性）を考慮した優れた提案がなされていたが、緑グループは具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に用役使用量の最小化について、実績に基づいた優れた提案がなされていた。</li> </ul>
③機器配置計画（機能性、メンテナンス性、安全性に配慮した工場棟の配置・動線計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共にプラント機器の更新を考慮し、搬入・搬出が容易にできる配置・動線計画について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共にメンテナンスの空間（クレーン上部、各炉間、炉と建築隙間、各機器周り、各機器上部）が確保された配置・動線計画について、優れた提案がなされていたが、赤グループはメンテナンス性に優れた具体的な提案が示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に中央制御室、電気関係諸室は、機器のリプレイス時へ配慮した空間が確保された優れた提案がなされていた。</li> </ul>
④非常時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に非常時においても、人身事故や機能障害を防止するための機能を有したプラントシステムについて、優れた提案がなされていたが、緑グループは非常時の対応が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共にヒューマンエラーによる一次災害、二次災害を防止する機能やシステムの構築に関して優れた提案が実績に基づきなされていた。</li> </ul>
⑤全体配置計画（安全性、利便性に優れた配置・動線計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本施設の配置計画及び各施設の内部計画が合理的で、安全性・利便性に優れた配置・動線計画の提案がなされていたが、赤グループは全体的にコンパクトな全体配置計画となっていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に必要待機台数等の根拠に基づき、事業実施区域外に搬入車両が滞留することない十分な待機車両スペースが確保された安全な動線の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に狭隘な敷地の中で、大型バスで来館する見学者の館内までの安全なルートを確認した配置・動線計画の提案がなされていた。</li> </ul>

表 10 非価格要素審査の講評 (2/3)

審査項目	講評
⑥ 建築各種計画 (意匠・構造・仕上げ・外構・設備等各種計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に沿岸地域対策など地域特性を踏まえた意匠・構造・仕上げ・外構・設備等の各種計画について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に各機器の特性に応じた基礎構造となっており、地震時における安全性の高い構造計画 (免震、制震等) について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共にメンテナンスが容易でかつ耐久性に優れた屋根、外壁、内装等の仕上げ計画、外構計画等について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共にプラント使用環境下にあることを踏まえたプラント設置室内の仕様の計画について優れた提案がなされていた。</li> </ul>
⑦ 施工中の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に安心、安全に工事ができる施工計画の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に工事車両動線及び近隣住民への配慮等について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に周辺施設への振動、騒音、粉じん、濁水等の抑制、防止対策について優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に立地特性を踏まえ、騒音・振動等の対策を考慮した岩掘削の施工計画の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に工事施工中の事故発生時等の緊急時対策について示されていた。</li> </ul>
<b>(3) 運営に関する事項</b>	
① 運転管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に同種施設の運転実績や資格を有する専門技術者の配置を考慮した、優れた運転管理体制の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に役割分担や1班あたりの運転人員数が適切である優れた運転管理体制の提案がなされていた。緑及び赤グループの運転人員数は特に適切である点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に優れた人材育成方法の提案がなされていた。</li> </ul>
② 受入・受付方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本施設において直接ごみを搬入する一般者への分かりやすい誘導方法について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に本施設において周辺交通や搬入出に支障をきたさないような効率的で円滑な受付業務の対応・対策について、優れた提案がなされていたが、緑グループは受入・受付方法が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に粗大及び可燃ごみを混載した直接搬入車の円滑な受け入れへの提案がなされていた。</li> </ul>
③ 搬入物管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に具体的な処理不適物の混入防止対策について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に具体的な展開検査の頻度や方法について、優れた提案がなされているが、青及び赤グループはより具体的な提案が示されていた点を高く評価した。</li> </ul>
④ 運転計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に安定性の担保された優れた運転計画 (2炉稼働日数、全炉停止期間等) の提案がなされていたが、緑及び青グループは運転計画がより具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に用役使用量が最小化となる優れた運転計画の提案がなされていた。</li> </ul>
⑤ 緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に災害時 (水害、地震、火災、停電、故障、その他緊急事態で各々の事象毎別に) の管理体制、連絡体制、運転体制及び運転方法が十分である優れた提案がなされていたが、緑グループは災害時の運転方法が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に災害発生後に、復旧を最短とするための優れた提案がなされていた。</li> </ul>
⑥ 維持管理・補修計画 (プラント部分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本施設を30年以上の長期安定処理を前提とした20年間にわたる効率的な維持管理を行うための優れた提案がなされていたが、緑及び青グループ長寿命化や施設の更新時期を具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に事業の継続性を保つための維持管理計画 (使用機器及び部材の耐用年数との整合性を含む) について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に予備品確保の計画について、優れた提案がなされていた。</li> </ul>
⑦ 維持管理・補修計画 (プラント以外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本施設を30年以上の長期安定処理を前提とした20年間にわたる効率的な維持管理を行うための優れた提案がなされていたが、赤グループは長期的な維持管理計画がより具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に建築物 (仕上げ、構造体)、建築機械及び建築電気設備の保全に関する計画が適切である優れた提案がなされていた。</li> </ul>
⑧ 運営期間終了時の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に運営期間終了後の効率的な維持管理計画 (補修費、用役費、人件費) の優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に運営期間終了後の具体的な引継ぎ方法の優れた提案がなされていたが、緑、青、赤グループは5年間の引継ぎスケジュールが具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共にノウハウ継承方法の優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に運営業務の引継ぎ時及び引継ぎ後のサポート体制について優れた提案がなされていた。</li> </ul>

表 10 非価格要素審査の講評 (3/3)

審査項目	講 評
<b>2. 環境負荷を低減する環境にやさしい施設</b>	
<b>(1) 設計・建設に関する事項</b>	
①環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に省エネ性能に優れた効果的な設備計画について優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に省資源化、自然エネルギーの活用など、環境負荷低減に寄与する建築計画の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に省資源に関する低環境負荷材料の使用の考え方（使用品目、量等）について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に採用する環境負荷低減策について想定される効果について具体的な提案がなされていた。</li> </ul>
②周辺環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に周辺農地や雑木林などの自然景観と調和に配慮された優れたデザイン計画の提案となっていた。</li> <li>・ 4グループ共に圧迫感の少ない施設形状、材料、色彩の採用等を工夫し、外構施設との意匠面における一体性により周辺地域と調和した優れた外観デザイン、外構計画、サイン計画等の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に近傍の住居地域からの景観（視線）に配慮した外観デザインの提案がなされていた。</li> </ul>
<b>(2) 運営に関する事項</b>	
①作業環境保全対策、公害防止の対応（測定項目・測定頻度、基準値超過時の対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に作業員等の主要動線を考慮したダイオキシン類の管理区域エリアの配置、作業環境中の温湿度、騒音レベル、必要照度等への配慮について、優れた提案がなされていたが、緑グループはより具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に公害防止基準値を確実に遵守するための排ガス、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所等）について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に排ガス中の有害物質の濃度が、要監視基準値、停止基準値を超えたときの対策等について、優れた提案がなされていたが、青及び赤グループは要監視基準値を遵守するための目標値の提案が示されていた点を高く評価した。</li> </ul>
<b>3. 地域に貢献し、親しまれる施設</b>	
<b>(1) 設計・建設に関する事項</b>	
①見学者の安全性、利便性に配慮した見学ルートの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に様々な見学者の利用に配慮したバリアフリー性能、安全性、利便性の高い見学ルートの仕様の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に緊急時の避難経路が分かりやすいなど避難計画に優れた計画がなされていた。</li> </ul>
②展示・学習内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に展示・学習内容が具体的であり、迫力のある魅力的かつ経済的に優れた見学ルートと見学内容の提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に実物、模型、映像等を用いた展示・解説のコンテンツの充実と継続性、更新性に優れた提案がなされていたが、黄グループはより具体的な提案が示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に環境問題、地球温暖化防止、省エネルギー対策などの具体的な学習メニューが設定され、効果的に学習できる展示学習の具体的な提案がなされていた。</li> </ul>
<b>(2) 事業計画に関する事項</b>	
①地元企業への発注	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に設計・建設業務での各工事（機械設備工事、土木建築工事）での下請工事、資材調達等において、積極的に本市内の企業を活用することで、本市内の発注金額、発注内容及び企業数等について具体的な優れた提案がなされていたが、緑グループの提案内容がより具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に運營業務での用役調達等（従業員の調達を除く。）において、積極的に本市内の企業を活用することで、本市内の発注金額、発注内容及び企業数等について具体的な優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に事業期間を通じて、本市内の企業との協力、連携体制に対し、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ 4グループ共に事業期間を通じて、本市内の企業への発注が確実に実行されていることを本市が確認するための仕組みについて、優れた提案がなされていた。なお、事業期間を通じた年度別の企業別業務別の本市内企業への発注予定額が分かる表も確認した。</li> </ul>
②運營業務時における地元雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に本市内在住者の直接雇用に対する考え方について、具体的に、優れた提案がなされていたが、赤グループの雇用の提案が具体的に示されていた点を高く評価した。</li> <li>・ 4グループ共に本市内在住者の直接雇用が確実に実行されていることを本市が確認するための仕組みについて、優れた提案がなされていた。</li> </ul>
③地域への貢献、本市との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4グループ共に地域に開かれた施設について配慮した点が具体的に提案されていた。</li> <li>・ 4グループ共に周辺住民との信頼関係構築に本市と連携して対応する体制が提案されていた。</li> <li>・ 4グループ共に設計・建設業務、運營業務において市が行う情報公開等への協力についての具体的な提案が示されていた。</li> <li>・ 4グループ共にその他市との連携における配慮についての対策が示されていた。</li> </ul>

## 5 価格審査

価格審査結果は表 11 に示すとおりである。価格審査は、「落札者決定基準」に基づき、入札価格について得点化した。(配点 40 点)

表 11 価格審査結果一覧

項目	緑グループ	青グループ	赤グループ	黄グループ
入札価格	8,640,000千円	8,734,000千円	7,747,542千円	8,946,000千円
設計建設業務費	3,540,000千円	3,870,000千円	3,254,556千円	3,730,000千円
運營業務委託費	5,100,000千円	4,864,000千円	4,492,986千円	5,216,000千円
価格点	35.87点	35.48点	40.00点	34.64点

注) 価格審査点=40点×(最低入札価格/入札価格)

得点は小数点第3桁を四捨五入して、小数点2桁まで算出

入札価格は消費税及び地方消費税を含まない

入札書比較価格は、9,708,700,000円(消費税及び地方消費税を含まない)

うち運營業務委託費の入札書比較価格は、5,260,000,000円(消費税及び地方消費税を含まない)

## 6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定

「落札者決定基準」に従って表 12 に示すとおり4グループの総合評価点を求め、より高い総合評価点を得た応募者番号：赤グループ(代表企業：株式会社プランテック)を優秀提案者として選定した。

表 12 総合評価点の算出結果

項目	配点	緑グループ	青グループ	赤グループ	黄グループ
非価格要素点	60	33.94点	32.24点	32.27点	26.51点
価格点	40	35.87点	35.48点	40.00点	34.64点
総合評価点	100	69.81点	67.72点	72.27点	61.15点

注) 総合評価点=非価格要素点+価格点

## V 総評

本事業では4グループから応募を受け、いずれの提案も本事業の事業目的を理解し要求水準を上回るものであるとともに、技術・運営面及び価格面の双方において民間事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれた高いレベルでの提案であった。

事業者選定委員会は、厳正なる審査の結果、応募者赤グループ（代表企業：株式会社プランテック）を五島市ごみ処理施設整備及び運営事業において、五島市の期待に応えることができる優秀提案者として選定した。

優秀提案者の提案の中では、特に、全体配置計画、機器配置計画、公害防止対応の考え方や運營業務時における地元雇用の考え方が高く評価された。

今後、五島市と応募者赤グループが良好なパートナーシップを構築し、公共事業の一環として事業目的及び基本方針に沿った安全・安定で、環境負荷を低減するごみ処理を実施することを期待する。そのため、応募者赤グループに対しては、公共サービスの更なる向上のため、次の点に留意することを望むものである。あわせて、事業者選定委員会は五島市が、これらを配慮事項として改善に反映させることを望み、応募者赤グループに明確に伝えるとともに、双方が誠実な協議を重ねることにより、本事業がより良いものになっていくことを期待する。

- ①万難を排して工期を遵守すること。
- ②トラブル発生時における対応について、迅速に復旧できる具体的な方策を示すこと。
- ③大型バスの動線において、見学者の安全を確実に確保すること。
- ④岩掘削について制御発破工法を採用する提案だが、住民から苦情のないよう細心の注意を払うこと。また、岩掘削を実施できなかった場合の計画も検討すること。
- ⑤防災管理体制を構築し、確実に実施すること。
- ⑥大規模改修は行わず、補修工事の分散・平準化を図る提案であるが、運営期間終了時に品質の良い状態を保ち、さらにその先10年以上の稼働が可能となるような維持管理・補修に努めること。
- ⑦見学者の避難経路について、子どもたちが避難することを考慮し、避難ハッチでなく階段で安全に避難できるルートを確認すること。
- ⑧可燃ごみの処理について、複数ある処理方法の中から焼却処理が選択されている理由を知らない人々もいるため、見学者への展示内容の中で、焼却処理が行われている理由についても説明すること。
- ⑨「見学者の安全性、利便性に配慮した見学ルートの形成」及び「展示・学習内容の充実」の内容の改善に努めること。
- ⑩地元雇用を100%行うという点に対して高評価を受けている一方で、地元人材だけでは技術面が不足することも考えられるため、地元人材への教育を十分に行うこと。

平成29年6月

五島市ごみ処理施設整備事業事業者選定委員会

委員長 西久保 裕彦